

現代外科学における肝胆膵手術のガイダンスを「How(技法)とWhy(根拠)」に重点をおいて提供する外科学 アトラス、改訂第2版。総集編であるOperative niques in Surgery第2版をもとに、編集責任者Mary T. Hawnの監修のもとSteven J. Hughes医師が慎重に 編集を施し、何を見るべきか、どう進めていくか、に焦点 を当てながら外科的手技の各段階を細部にわたって明確 に解説する。本改訂版は、箇条書きやフルカラーのイラス ト、術中写真などを豊富に収載し、簡潔明瞭な構成となっ ている。患者ごとに最良のアプローチを選択して適切に 実施し、最善の成果を挙げるために必要な情報を素早く 得ることができる一冊である。

本書の特長:

- 肝胆膵および脾臓の外科手術に関する包括的かつ 段階的なガイダンスを提供
- 肝胆膵の観血的、腹腔鏡下、内視鏡下、および口 ボット支援手術を網羅し、外傷関連の処置につい ても解説
- 全編にわたる多くの章で、寄稿者や編集者が厳選 した新たな参考動画を紹介
- American Board of Surgery's SCORE Curricula for General Surgery and for Complex General Surgical Oncology (一般外科および 複雑な一般外科腫瘍学を対象とする米国外科医認 定委員会の SCORE カリキュラム)に関する情報を 追加するなど、全編にわたって広範にアップデート
- 各外科手技の解説は、鑑別診断、患者の既往歴と 身体所見、画像診断とその他の診断検査、外科的 治療、手技、要点とピットフォール、術後ケア、転帰、 合併症を網羅するわかりやすい構成で統一

本書には、タブレットやスマートフォンにダウンロード して専用アプリからいつでもアクセスできるインタラ クティブな eBook 版がバンドルされている。







【取扱書店】